

## 明けましておめでとうございます

私も『Uji 健歩会』に入会し6年目を迎えることになり、それだけ加齢が進んだことになります。自分ではあまり気にしないようにしていますが、気力や体力の衰えが目立ち先行きに一抹の寂しさを感じています。

今年、研修事業部では次代を担っていただく新会員入会の必要条件である最も大切な『ウォーキングリーダー養成講座』を開講する年です。何名の受講申し込み者があるのか楽しみです。

会員各位にも知人、友人にお声をかけて頂き、出来るだけ多くの方にお誘いをお願いいたします。

今年は会員各位にとり、健康で良いお年であることを祈念しています。 研修事業部長 柳田 浩

## H25年度 Nantan 健歩会との交流会随想

冬近い11月末(26日)、素晴らしい好天だが小寒い1日だった。塔の島で1年ぶりの懐かしい顔(今回は南丹側19名、宇治側35名)を見かけ挨拶を交わす。10年ひと昔というが、交流会も年を重ねると、最初から参加していた人も少なくなって、過半数が新しい人に替わっていた。

早速、秋の紅葉を愛でようと、モミジ谷へと向かう。清流の谷をさかのぼると、赤や黄色の木々が目の中へ飛び込んで、口々に感嘆の声が上がる。

結構皆さん健脚なご様子で歩まれ白山神社に、お参りを済ませて、そこから訪ねた「宇治茶会館」でおいしい宇治茶の飲み方を習う。

玉露のお湯の注ぎ方(淹れ方)でかくも味が変わるのかと、皆神妙にインストラクターの一挙手一投足を見習っていた。まさに珠玉の一時だった。

太陽が丘は紅葉真っ盛り、おいしいお昼弁当を各自味わったのち、今度は鴻の巣山運動公園まで足を延ばし、ふうふういいながら鴻の巣山を登ると、誰かさんが「ひょっとすると、南丹が見えるかも？」大ウソと知りつつも目を凝らす皆さんだった。

山を降りると、もう別れの時間、「楽しい一日だった、又来年も逢いましょう」と、別れる前の思い入れもひとしお、迎えのバスに乗り込んで、お互い手を振ると少々涙ぐむ思いがした。 2班 司馬康男



Nantan健歩会

第9回 交流会

Uji 健歩会

## 第9回 Uji・Nantan健歩会研修交流会に参加して

前日の雨も止み朝の寒さを感じる頃、南丹から早朝の霧の中を走り午前9時に宇治晩秋の「塔の島」に19名到着。当方と合わせ全員で約50名が出発した。

もみじ谷、太陽が丘、鴻の巣山展望台、水渡神社と紅葉の道を心地の良いウォーキングが出来、途中の宇治茶会館では宇治玉露「七福の舞」の淹れ方を教わり、茶の滴とお菓子を楽しみ、茶葉もポン酢で頂いた。予想に反し、軟らかく新芽のところのみが用いられ美味しかった。

その後昼食、午後は太陽が丘から鴻の巣山展望台まで多少厳しい階段を登り水渡神社に出た。

両会員共全員に、よく歩かれ最後に山村会長から、初めてUji 健歩会と出会った9年前のことを話された。当時の園部は男性1名、他は全員女性で、興聖寺の前で取った写真を見ると参加者17名中男性は宇治7名、園部1名である。

しかし、現在のNantan 健歩会の会員数は園部から南丹と広くなり、会員80数名と発展され構成も83歳の男性が、昔宇治の辺りをゴルフで行き来した事を話す人、カメラマンの縦横の活動ぶり等、各々に目を引く人々の集まりであった。又、写真を見て過去の交流会を思い出すと、るり溪自然公園を歩いた後、温泉プールで汗を流した事や丹波七福神、美山・かやぶきの里等で交流し、歩いた事を懐かしく思い出した。 3班 奥瀬利男



## Uji 健歩会の各行事にご参加の皆さん

Uji 健歩会行事の月例会や講習会に参加いただいている皆様方の活動状況の写真や今後の行事予定が、ご家庭のコンピューターでご覧いただける事をご存知でしょうか。

是非ご覧いただき、皆様のご感想・ご要望等のコメントを書いていただくことも可能です。

会報表紙左上、Uji 健歩会の下に <http://ujikenpo.blog.fc2.com/> とある、このアドレスを入力・検索し、Uji 健歩会をクリックしていただければご覧いただけます。

参加時皆様方の楽しい、辛い、疲れた等の思い出がよみがえるのではないのでしょうか。 事務局